



昭島 *For the Earth, For the Future*
～カーボンニュートラルへの旅路～

カーボンニュートラル通信

令和6年(2024年)3月15日発行 No.4

発行：昭島市環境部環境課

〒196-8511 昭島市田中町一丁目17番1号 TEL 042-544-4331 FAX 042-544-6440
ホームページ <https://www.city.akishima.lg.jp/li/010/040/080/index.html>

第2回昭島市まちづくり企業サミットが開催されました

令和5年12月20日、国連アジア極東犯罪防止研修所において、持続的で魅力あるまちづくりに向け、5年振りに「昭島市まちづくり企業サミット」を開催しました。今回のまちづくり企業サミットでは、「カーボンニュートラルシティ実現に向けた官民連携のまちづくり」をテーマに、市内主要企業等の代表者が集まりました。



各企業・団体から、環境負荷低減に向けた取り組みの発表や今後連携して実施したいと考える取り組みの提案などがあり、活発な意見交換が行われました。

脱炭素化の取り組みを進めるうえで、官民はもちろん、昭島市に関係するすべての人が一体となって行動することはとても重要です。オール昭島で2030年カーボンーフ、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを進めていきましょう。

ナッジ理論を活用した省エネ教育プログラムを実施しました

「ナッジ理論[※]を活用した省エネ教育プログラム」を市内小学校3校で実施しました。本プログラムは、令和4年5月に締結した昭島市、昭島ガス株式会社、東京ガス株式会社との3者包括連携協定に基づく取り組みの一環であり、実施することで家庭のCO₂排出量を約5%削減することが確認されています。本事業を実施するに当たり、環境省の「令和5年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(ナッジ手法の社会実装促進事業)」を活用しました。(全国初の取り組み)

※「(英語 nudge) ひじで軽く突く、そっと後押しする」という意味から、人々が自発的に望ましい行動を選択するよう促す仕掛けや手法を示す用語



節電実験



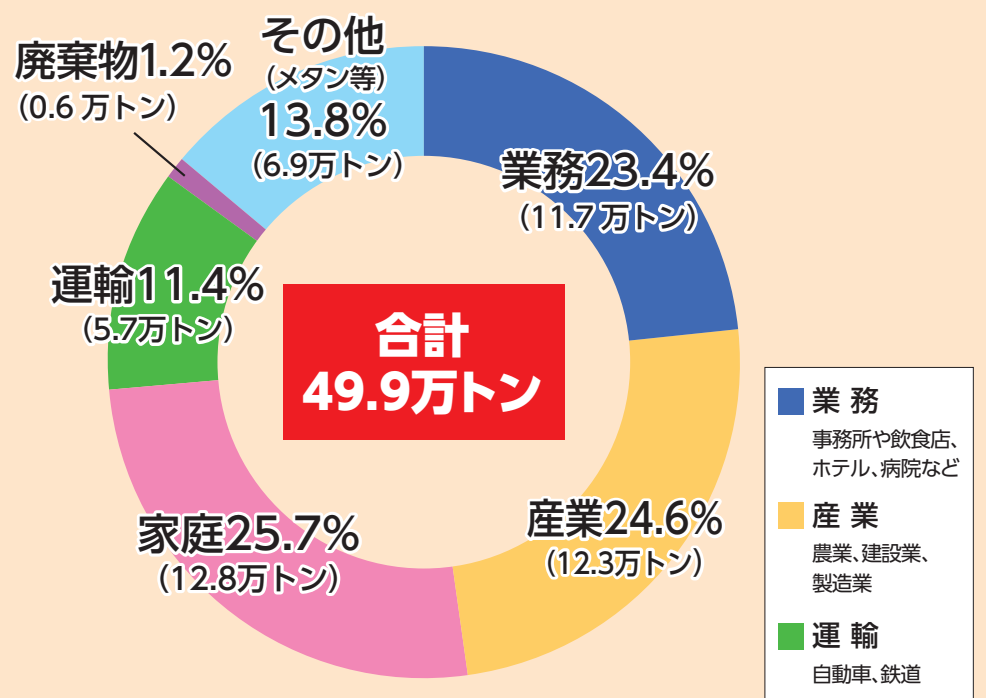
一人ひとりが省エネ行動等に関する新聞を作成し、発表しました



日常生活で発生する温室効果ガスを減らしていきましょう!

昭島市の直近の温室効果ガス排出量 (2020年度)

2019年度と比較すると約0.9万トンの削減となり、基準(2000)年度比では約7.4%の減となりました。この削減量は、スギの木約642本分の年間CO₂吸収量に匹敵します。しかし、目標である2030年カーボンハーフ(基準年度比50%削減)には大きくかけ離れており、特に家庭部門については、2019年度比で0.6万トンの増となっています。日頃の生活を見直し、家庭の温室効果ガス排出量を削減しましょう。



※表の数値は四捨五入しているため、合計等が一致しない場合があります。

家庭部門の温室効果ガス排出量削減のポイント!

- エアコンを使用するときは、扇風機やサーキュレーターを併用する。
- 宅配便はなるべく1回で受け取るようにする。
- お風呂はなるべく間隔を開けずに入る。
- 住宅に太陽光発電設備を設置する。
- 服を購入する際は、長く着ることを意識して商品を選ぶ。
- 食器を洗うときは、低温に設定し、使用のお湯の量を減らすようにする。
- 契約している電気メニューを再エネ100%電気に切り替える。

昭島市のホームページにおいて、再エネ100%電気メニューの契約ができる事業者を紹介しています。



昭島市環境配慮事業者ネットワークとして産業まつりに出展しました

昭島市環境配慮事業者ネットワーク(環境配慮の取り組みの更なる向上を目指すことを目的として設立された、昭島市内の事業者による団体)の活動の一環として、令和5年11月11日(土)、12日(日)にF O S T E Rホール(市民会館)・公民館で開催された第53回昭島市産業まつりに出展しました。環境に関するパネルや各事業者の製品の展示、アンケートに答えていただいた方へのノベルティグッズの配布などを2日間にかけて行い、多くの方にブースへ足を運んでいただきました。

昭島市環境配慮事業者ネットワークは、環境負荷低減に向けた取り組みとして、今後も様々な活動を続けていきます。

